



世界遺産登録推進シンポジウム2022
『立山砂防防災遺産シンポジウム』
-日本固有の防災遺産 - 立山砂防の防災システムを世界遺産に-

○日時：令和4年12月4日（日）13：30～17：00

○会場：富山国際会議場 メインホール



～プログラム内容～

- ◆基調講演：『防災遺産 立山砂防の価値とその評価』
伊東 孝 氏（産業遺産情報センター研究主幹、
日本イコモス国内委員会「技術遺産小委員会」主査）
- ◆「富山県の立山砂防の世界文化遺産登録に向けた取組み」報告
- ◆パネルディスカッション

令和4年12月4日（日）、富山国際会議場メインホールにて「日本固有の防災遺産 -立山砂防の防災システムを世界遺産に-」というテーマで世界遺産登録推進シンポジウム2022「立山砂防防災遺産シンポジウム」が開催されました。このシンポジウムでは、世界遺産の最前線で活躍する専門家による、防災遺産としての立山砂防の価値や評価についての講演やパネルディスカッションを通して、立山砂防の顕著な普遍的な価値や魅力、さらにこれからの世界遺産に求められる価値について議論がなされました。

来賓挨拶

三上 幸三 氏
（国土交通省 水管理・
国土保全局砂防部長）



報告

『富山県の立山砂防の世界文化遺産登録に向けた取組み』
新田 八朗
（富山県知事）



基調講演



伊東 孝
（産業遺産情報センター研究主幹、
日本イコモス国内委員会「技術遺産小委員会」主査）

講演内容

防災遺産として国際的に誇れるインフラ技術と維持管理方法を持っている等、世界遺産に登録される価値があると講演された。

パネルディスカッション

議論の内容

- ・防災という点で顕著な遺産である。
- ・防災という点では今まで、世界遺産登録の前例がない。
- ・世界に向け情報発信を強化する必要がある。

上記等の議論が交わされました。



コーディネーター
西村 幸夫 氏
（日本イコモス国内委員会顧問）



パネリスト
松浦 晃一郎 氏
（第8代ユネスコ事務局長）



パネリスト
伊東 孝 氏
（産業遺産情報センター研究主幹、
日本イコモス国内委員会「
技術遺産小委員会」主査）



パネリスト
大野 宏之 氏
（一般社団法人全国治水砂防協会理事、
公益社団法人砂防学会会長）



パネリスト
西川 英佑 氏
（関西大学助教）



パネルディスカッションの様子